

プレスリリース

GGG19 - 14

本件は、下記に同時プレスリリースです
環境問題研究会、文部科学記者会

平成19年 10月 22日

国指定天然記念物の樹木の保護を支援！

「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」を文化庁に寄贈

(社)golferの緑化促進協力会(会長;児島 仁、理事長;大西久光)は、当会が発刊した書籍「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」を文化庁(長官;青木 保、担当:文化財部記念物課)に150部寄贈し、全国の貴重な天然記念物樹木を腐朽病害から守って頂くために役立てて頂くこととしました。

贈呈は、10月19日(金)14時30分より、(社)golferの緑化促進協力会会長の児島 仁から、文化庁長官の青木 保氏に、文化庁長官室において同書籍を手交するかたちで行われました。

当会は、昭和51年の設立以来、公共施設(学校・公園・福祉施設等)の緑化植樹を中心に環境緑化活動を促進しており、本書籍は、緑化樹木を腐朽病害から守るために実施した「安全対策・景観保持の樹木管理技術の調査研究」の成果をまとめたもので、全国の緑地・公園・ゴルフ場等で緑地管理の実務に携わるの方々にご利用頂く目的で作成したものです。

本件問合せ先
(社)golferの緑化促進協力会 担当:西本、麻生
電話:03-3584-2838 FAX:03-3584-2847

(贈呈の様様)

G G G児島会長(左)から文化庁青木長官へ書籍を贈呈



長官との懇談(左：奥；児島会長、手前；西本専務理事 右：青木長官)



(参考1)

新刊のご案内

本書の特徴

緑化樹木腐朽病害に関する初めての専門書！
(独)森林総合研究所・阿部先生による木材腐朽菌 65 種のカラー写真と判別ポイント解説！
「最新・樹木医の手引き」の実践的な副読本！

『緑化樹木腐朽病害ハンドブック～木材腐朽菌の見分け方とその診断』

B5 192ページ 全ページカラー 領価5,000円(税込み・送料別)

(社)ゴルファーの緑化促進協力会編 (財)日本緑化センター発行

本書は木材腐朽菌と緑化樹木の腐朽病害を解説することを目的として、「木材腐朽菌図鑑」と「緑化樹木腐朽病害の診断と対策」の2編から構成している。

編は2章から成り、緑化樹木に発生する主な木材腐朽菌の判別方法について解説する。「1. 木材腐朽菌図鑑」は本書の中核となるもので、主な木材腐朽菌 65 種類の写真、特徴、発生する樹種、腐朽型、分布、木材腐朽菌の簡易検索、用語解説について記載する。「2. 木材腐朽菌の性質」は、木材腐朽菌をより詳しく知るため、木材腐朽菌の生活環、感染方法、胞子や菌糸の性質について解説する。

編は 編に示す木材腐朽菌の基礎知識をもとに、実際の緑化樹木腐朽病害に対する診断と対策について述べる。

「1. 緑化樹木腐朽病害の診断」において、木部の構成や腐朽の発生部位を明らかにし、腐朽病害の見分け方として、外見診断、VTA手法、機器診断の方法と手順を説明し、腐朽病害診断や腐朽程度判定の課題を示す。

「2. 緑化樹木腐朽病害の対策」において、平成17・18年度に全国の樹木医にご協力いただいた緑化樹木腐朽病害実態調査にもとづく腐朽病害の現状、心材腐朽と辺材腐朽に分けた被害対策、木材腐朽菌の侵入要因を整理し、自然災害と人為的被害に分けた予防対策の方法と手順を説明し、被害と予防の課題を述べる。さらに、上記の実態調査の中から特徴的な被害事例を選定し、4つのモデル対策を具体的に提示している。

巻末には木材腐朽菌と腐朽病害に一般的な用語の索引を掲載している。

目次

木材腐朽菌図鑑

- 1 木材腐朽菌図鑑
 - 2 木材腐朽菌の性質
- #### 緑化樹木腐朽病害の診断と対策
- 1 緑化樹木腐朽病害の診断
 - 1.1 樹木の腐朽病害について
 - 1.2 腐朽病害の見分け方
 - 1.3 腐朽病害診断の課題
 - 1.4 腐朽病害の腐朽程度判定の課題
 - 2 緑化樹木腐朽病害の対策
 - 2.1 腐朽病害の現状
 - 2.2 被害対策の考え方
 - 2.3 予防対策の考え方
 - 2.4 被害・予防対策の課題
 - 2.5 モデル対策事例

索引

資料編



(参考2)

社団法人 ゴルファーの緑化促進協力会の概要

(ゴルフ界の社会貢献活動の一翼を担う公益法人)

1. 設立と目的

昭和51年(1976年)9月、環境庁(現:環境省)許可の公益法人として設立。

ゴルフ場のご協力を得て、ゴルファーの方々から緑化協力金(1人1日50円)を募り、学校・病院・福祉施設など社会公共施設を中心とした緑化、環境保全事業を推進。

2. 主な役員

会長 : 児島 仁 (NTT 特別顧問)

理事長 : 大西久光 (日本ゴルフコース設計者協会理事長)

専務理事 : 西本敏雄

3. 主な収益 (H18年度 約2億円。 緑化協力金等の累計 97億円)

(ご協力頂いたゴルフ場 366ゴルフ場)

ゴルファーの方々からの善意の緑化協力金

企業・団体からの寄付金

ホールインワン保険等からの個人の寄付金

4. 主な事業 (18年度末まで)

地方緑化事業 : 全国の小中学校・病院・福祉施設等公共施設への植樹

(累計、7800箇所へ187万本) 各県緑化推進委員会等に委託

全国緑化事業 : 全国的な環境緑化・環境保全

松枯れ対策 : 抵抗性松苗木の研究、松島・佐渡等の松枯れ対策支援

校庭の芝生化 : 神戸市、大阪府の小学校等モデル事業の支援、踏まれ強い芝生研究助成。「校庭芝生化のすすめ」の発刊・寄贈

生物多様性保全 : 世界自然遺産屋久島の「ヤクタネゴヨウ」松、小笠原の絶滅危惧動植物、南アルプス・八ヶ岳地方の「ヒメバラモミ」の救済支援

安全・景観保持 : 千葉県東金市八鶴湖での「サクラてんぐ巢病対策モデル事業」の実施、木材腐朽菌病対策の研究助成、「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」の発刊・寄贈

環境教育の支援 ; 「マツとあそぼう」「学校の樹木と土を元気にしよう」「マツに親しもう」などの冊子の発行

復興植樹 : 雲仙普賢岳被災地の「さくらパーク」に復興植樹

都市の防災モデル植樹 : 練馬区大泉中学校へのモデル植樹

酸性雨対策 : 実態調査と出版

国立公園内の自然保護 NGO 活動の支援